



なつとくんの

## なるほどなつとニュース



Community Museum「地域の宝・学校の宝」学校を中心とした地域の教育的環境の活用をめざして

※なつとくんの「なるほどなつとニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。↑

しゅくい  
宿井のハゼノキたぶせちょうしゅくい  
田布施町宿井

田布施町宿井の町道のかたわらに、樹齢240年と言われる県下でもめずらしいハゼノキの大木があります。県の天然記念物に指定されています。ハゼノキはウルシ科で、かぶれる場合があります。近づくときは、葉や枝に触らないよう気をつけてください。



高さは約11m、幹のまわりは約4m、四方に枝をのばして、東西南北に約7mに広がっている大木です。

ハゼノキは、初夏には白い花を咲かせ、初冬には茶色の果実（上写真）をつけます。

レツツ  
チャレーブ！

皮と種子の間の部分に、「ロウ」（ハゼ蛾）が含まれています。

江戸時代、長州藩はハゼノキの植えつけを奨励し、米・紙・塩にハゼ蛾を特産物として加え、藩外に出荷しました。これらはどれも白いことから、防長四白と呼ばれました。



山口博物館所蔵

むらたせいふう  
村田清風（1783～1855）

四白政策をすすめるなど、長州藩の改革を指導しました。



長州藩の四白政策（防長四白を積極的に生産すること）を含む財政上の努力が、明治維新の原動力となったのです。宿井のハゼノキは、そうした歴史を見守ってきました。

ハゼノキの種子は「きつねの（ ）」と呼ばれ、「100個集めたら願いごとが叶う」といわれる伝えがあるそうです。（ ）に当てはまる言葉は何でしょう？

A 小判